

創立 1986 年

2021～2022年度クラブ目標

『新たな奉仕に踏み出そう
ロータリーの次の百年のために』

会長 鈴木 孝 幸
幹事 須藤 正 樹



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021～22年度国際ロータリーテーマ

第1673回例会

令和3年7月8日(18:30～19:30)



○ソング

- 四つのテスト

○スマイルBOX

- 鈴木孝幸会長（本日は次年度方針発表ありがとうございました。ようやく会長としての実感が少しずつ始めました。期待出来る一年です。）
- 須藤正樹幹事（今日は気持ちがへこんでいるのでスマイルします。）
- 吉野敬之会員（今年度理事の皆様、鈴木会長、須藤幹事を支えながら一年間の活動を頑張ってください。私も微力ながらお手伝いさせていただきます。又100%出席表彰も頂き有難うございました。23名もの100%出席者が誕生しました事に素直に感謝しております。ありがとうございました。）
- 金田昇会員（地区も分区も活発に動きはじまりました。アフターコロナが待ちどおしいですね。）
- 佐藤幸彦会員（100%出席頂きました。）
- 渡部勝也会員（前年度出席率100%の商品券をいただきましたので！！）
- 齋藤孝弘会員（先週スマイルしなかったのでスマイルします。会長・幹事一年間ガンバってください。）
- 堀田一彦会員（久しぶりにバーディーを取ったのでスマイルします。）
- 宮本多可夫会員（鈴木、須藤年度の輝かしい年度の出発を祝して。）
- 阿部克弘会員（先週は誕生日のプレゼント有難うございました。7月28日にストップをしていたトレーニングを再開しました。目標は以前上げていたベンチプレス80kgです。更に100kg目指して頑張ります。）
- 永野文雄会員（梅雨空の為にゴルフの予定が不安定です。本日は五大部門、小委員会の委員長さん、ご苦労様です。）
- 高畠裕会員（鈴木・須藤年度のスタートおめでとうございます。楽しみにしております。先週遅れて来てスマイルできませんでしたので今回させていただきます。）

▶第1673回例会出席状況 (R3年7月8日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	50名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	64名
Ⓒ ①の出席者数	32名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓕ ②の出席者数	11名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	43名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	61
Ⓘ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	70.5%

▶例会日：第1・第3木曜日(12:30) その他の木曜日(18:30～19:30)

▶例会場：白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局：〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間

鈴木孝幸会長



皆さん、こんばんは。本日もお忙しい中、例会出席どうもありがとうございます。本日の例会は、五大奉仕部門と委員会の方針発表ということで、楽しみにしていますので皆様よろしくお願ひしたいと思います。さて、ちょうど昨年のは九州でも豪雨がありましたが、今年は熱海の豪雨による土石流が発生してしまいました。今回、この熱海の土石流災害についてちょっとお話をしたいと思います。実は私は大学は神奈川だったので、学生時代、伊豆や箱根はバイクでよく通っていたりしました。熱海の先の下田という所に私の友達の実家がありまして、海の家なんかを経営してたことから夏はよく友人の海の家の手伝いと遊びを兼ねて何回か行った経過があるので、ここら辺の土地は非常に親近感もありますし、ある程度の土地感もあります。伊豆というところは、海に凄い山が近い所で、住宅が傾斜地にへばりついているような形が結構特徴的なものだったので、今回のニュースを聞いた時にああやっぱり土石流が起こるべくして起こったのかなと思っていましたが、ニュースを見ると原因が盛土であるということで、グーグルでちょっと調べてみてグーグルマップ今出てきますが、びっくりしたのはこの土石流の発生地点まで危険地帯とされていることですね。私も建築業界の人間なので、盛土とか開発行為というのはすごい気になります。それでちょっと地図から読み取ったら、斜面に沿って7段8段くらい斜めに、のり面というのは斜めの面ですね。犬走りってのは平らな面を作って、また更にこうやってのり面、犬走りってこういうに上げていくんですけど、それが7段から8段数えられるということは、のり面というのは高さ決まりがありまして5メートルで区切っていくということで、大体最低でも35メートルくらい。ビルでいうとマンションの11階くらいに相当する高さが盛土で盛り上げられている。ここが例の5万立方メートルの盛土というところですね。その5万立方メートルがあつという間に崩れて、土を引きずって倍の10万立方メートルの土砂が流れたという状況です。崩れた盛土についても、開発許可という非常に厳密な許可申請がありまして、それをちゃんと取っていたようです。私も実際開発許可に絡む建築の設計なんかも行ったことがありますけども、非常に開発許可は厳密な設計審査と完了検査も行っています。特に水に対する措置については、排水経路とか調整池等を作りなさいと。池を作りなさいと言って、雨水の流出を積極的に抑えるよう指導をしているんですけどもこのような事故が起きたと。現場ではどんな状況で施行したのかわかりませんが、今現在正措置、ずいぶん昔から正措置が出てたようなので、何か工事や、それじゃなければ管理や、今その後の運用、10年前に竣工してるようなので不正があったのは多分事実なんだ

ななんて思っています。要するに、私たちの身の回りには建物や道路などのインフラというのは法律で管理されていても、行政の目の届かな所で危険なことが行われたり、起こってしまうということを、さらには現在の気候は過去の実績では考えられない雨量や風、地震が頻繁に起こっている事。設計の仕方についても、過去の何年間雨量という過去のデータで設計しますので、最近観測史上最大級が連発してる状況の中で対応が間に合わない状況になってるのかななんて感じたりしています。それを考えると、まず自分も家族も身を守るためには行政では限界がある。やっぱり、自分で守っていかなければいけないということを皆さんに認識していただきたいなと思っています。これを機会にもう一度、自宅や会社を見直してもらいたいと思います。白河とか西郷もそうですけども、他の地域、自治体でハザードマップというものをしています。グーグルですぐ出てくるので、そちらに地震に強い弱い、そして水害の起こりやすい起こりにくい、さらに液状化しやすい、そういったデータまで書いてあつて非常によくわかります。ですけど、ハザードマップは完璧じゃありません。実際、今回の熱海の地滑りも滑った所はハザードマップでは白塗り、要するに危険区域ではない所に該当してるようです。あと気を付けて見ていただきたいのは、自分の家の土留めとか擁壁、そして道路は斜面に面してる時は尚更、ヒビとか動いている隙間とか異常がないかをしっかりと見ていただけないかと思っています。また、隣の建築や擁壁とか、水路もですね。しっかり危機管理という目で見えて確認してみてください。心配な場所があったら恥ずかしくないのは、是非専門家に積極的にご相談されたほうがいいかと思います。熱海の現場でまだ何人も人が安否の確認が取れない状況であります。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りすると共に、安否の確認が取れない方々の無事を心からお祈りしたいと思います。

昨日は七夕でした。皆さん、ご自宅のお子さんがいるところでは、七夕飾りとかやったのではないのでしょうか。ところで、皆さん七夕というと織姫と彦星。皆さんはこの二人の関係はご存じでしょうか。恋人でしょうか、夫婦でしょうか。それとも、いけない関係なのではないでしょうか。答えは夫婦なんですね。私は実は恋人同士だと思っていました。夫婦なのに何で天の川を挟んで離れているかという、結婚した後も二人は遊び呆けていたらしいです。それを神様が怒って、二人の間に天の川を挟んだというのが定説らしいです。ですが、あまりにもかわいそうなので一年に一回七夕の日だけは再会を許されたということですね。しかし、そんなに全然合わなくても別れたという話を聞かないので、よっぽど仲が良い夫婦なのかななんて思っています。最近の七夕は昨日もそうですけど、梅雨ばかりで織姫と彦星は会えないだろうと心配された方も多いと思います。しかし、二人で会っているのは実は旧暦の七夕ということで、今年は8月14日が旧暦の七夕に該当するということで、8月14日は既に梅雨も明けておりますし、しっかり晴天の中で会う

ことができるのかなと思っています。ですが、一年に一回会うといっても、織姫も彦星も何だかんだいっても星ですから、星は絶対に動きませんので近づいて行けないですね。距離は一定に保つ、間合いを保って距離は保ったまま、これは織姫と彦星という偉大な夫婦が、仲の良い夫婦には距離感が間合いが必要だということを教えてくれていると私は思っています。私の家で私の家内は私がいかに家にはいないということで、私のことをシェアハウスの住人と呼んでいます。ですけど、私は織姫と彦星さんを見習ってこの距離感、間合いを保ちながら、今後も家内と仲良く暮らしていきたいと締めくくりにして、会長の時間を終わりにしたいと思っています。

■幹事報告

須藤正樹幹事

- 石川ロータリークラブ会長齋藤一彦、幹事と知一守：2021-22年度年次計画書・報告書の送付について
- 国際ロータリー日本事務局：地区・地区支援室よりご挨拶
- 衆議院議員 上杉謙太郎：会長就任お祝い

■委員会報告

○鶴丸彰紀会員



皆さん、こんばんは。大切なお時間いただきまして、一つ皆様にお願いがございましてお時間をいただきました。実は、わたくし弊社「ミリオンテック」のほうでも協賛しております「子供たち未来応援企画」というものをやらせていただいている中で、今年初めてなんですけども阿武隈川での子供釣り大会というものを、8月1日に開催をさせていただきます。実はこの阿武隈川なんですけど、私は最初知らなかったのですが昨年までずっと禁漁が続いている状態で、今年初めて阿武隈川のほうでの漁が解禁になりました。県外の川というのはもうほとんど解禁になってるんですけど、阿武隈川は非常に長くて西郷が源流なんですけども、宮城まで流れている川ですので、ずっと解禁にならずにやっと今年解禁ということになりました。これを逆に考えると白河の子供たちというのは川遊びですとか釣りというのを一切やらずにこの十数年過ごしてしまってる。であれば、これは是非親子で釣りを通して、鮎の友釣りなんですけれども経験していただくことによって、子供たちに新しい経験をさせてあげたいという思いを込めてやっている企画なんですけど、参加の希望者の方が思った以上に増えてしまいまして、我々協賛企業では全然賄いきれないぐらいの状況になってしまっております。皆様にもし、ご協力いただけるようであればお気持ちの形でのご支援をいただければと思ひまして、今日この大切なお時間をいただきました。この鮎の友釣りということで親子釣り体験ということでやらせていただきます。西郷が源流の阿武隈川ですので、是非白河の子供たちにも親しんでもらいたい。多分この10年間、川遊びすらしてな

いというケースが多いと思いますので。そういう思いを込めて今年やらさせていただきます。これを最初にして、来年以降も年にその他は数回という回数にはなるとは思いますけど、こういうイベントを続けていきたいと思ひますので、もしご協力いただける企業さんがございましたら、よろしくお願ひいたします。この親子釣り大会というのは、実は2019年に宇都宮が主催で一度だけ開催されて、テレビ局のほうでも放映されてという形で取り扱っていただいております。今回は福島第1回目ということですので、小規模からのスタートになりますが是非これからも継続できますように、協賛以外でもお見知りおきいただければ、どこかしらで協力いただけるかと思ひますのでよろしくお願ひいたします。今回のこれは、まだ白河西ロータリーの活動ではございません。わたくしのほうからの個人的なお願ひという形にはなりますが、是非ご協力いただけるようであれば、こちらの紙も一緒に失礼ながら配らせていただきました。机の上におかせていただきました。口数とか書いていただいて、早速、永野様のほうから一口いただきましたのでありがとうございます。そういった形でいただければ、もしくはお声がけいただければと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

○前年度出席委員会

大住由香里前年度委員長



皆さん、こんばんは。前年度の出席委員会より、前年度、吉野・堀田年度の例会100パーセント出席者を発表させていただきます。お名前を呼ばれた方は前のほうに出て、記念品をお受け取りいただければと思ひます。

- ・青木大会員、阿部克弘会員、居川孝男会員
- 石部辰雄会員、運天直人会員、金田昇会員
- 齋藤孝弘会員、佐藤幸彦会員、鈴木孝幸会長
- 高畠裕会員、鶴丸彰紀会員、中目公英会員
- 永野文雄会員、成井正之会員、横田俊郎会員
- 藤田龍文会員、堀田一彦会員、前原俊治会員
- 山口治会員、吉田充会員、吉野敬之会員
- 渡部勝也会員、大住由香里会員 (計23名)



○ゴルフ愛好会



成井正之会長

今年度、ゴルフ愛好会の会長を仰せつかりました成井正之です。今日は、鈴木孝幸会長、須藤正樹幹事の第1回のゴルフコンペの案内を先日出しました。是非、参加くださるようにもう一度改めてご案内いたします。今のところ18名の方から出席回答は来てるんですけども、まだ30何名いらっしゃいますので是非出席だけは必ず出していただければと思っております。それと、吉野年度の時の取り切り戦も一緒に合わせて行いますので、これは新ベリア方式でやります。該当者は青木さん、車田さん、吉野さん、堀田さん、齋藤さん、藤田さん、鈴木さん、それからここは優勝、準優勝してる方です。それと前コンペ参加者も対象になっておりますので、前原さん、永野さん、鶴丸さん、運天さんは該当しておりますので、是非参加してくださるようにご案内申し上げます。よろしくをお願いします。

■本日のプログラム

五大部門・小委員会年度計画

○会長エレクト

高島裕会長エレクト



皆さん、こんばんは。今年度、会長エレクトとして仰せつかりました高島でございます。一年間、どうぞよろしくお願い致します。先日、新聞に鈴木会長が会長として掲載されてました。その記事を見て、改めてもういよいよあと一年後なんだというふうな感じを受けました。吉野バスト会長に先日お話を聞いたところ、会長やって何が大変なんですかというのと、やっぱり会長の時間が一番大変だったかなという答えだったと思います。今日、鈴木会長の会長の時間のお話もなかなか興味をそそるようなお話がありまして、真面目な話から七夕の話とそういったことで、やはり毎週こういった形で会長の時間も考えなければいけないのかなと思いました。先日、私も会長の時間の勉強だと思って商工会議所青年部の現役さんのほうから講演を頼まれてまして、1時間程講演をしてまいりました。1時間で結構持つのかなと思ったら、意外と話始まっちゃうと1時間というのもあっという間に過ぎて、ただ時間はもったんですがあとは話の中身なのかなというふうに思っております。一年間、鈴木会長の話の参考にさせていただきながら、会長の時間有意義なお役に立つような情報が皆さんに発信できるように、一年間かけて頑張っていきたいと思っております。それでは、一年間の私の目標とさせていただきますが、私自身西ロータリークラブのために何ができるのかを考えて、会長を補佐しながら次年度の準備期間としてクラブ活動に邁進して参りたいと思っております。全体的により良く理解できるよう一年間務めてまいりたいと思っております。会長の掲げるクラブ目標「新たな奉仕に踏み出そう ロータリーの次の百年のために」実現できるよう我々も頑張っていかなければならないと思っております。

ので、会員が一丸となって取り組める環境作りに貢献してまいりたいと思います。まだまだコロナ禍ではありますが、どのようにしたら充実した例会、そして充実した事業を開催できるのかを皆さんと一緒に考えて実行に移せるよう努めて参りたいと思います。鈴木・須藤年度の間に、次年度の地区のほうに対する計画も提出しなければなりませんので、その辺も含めて車田副幹事と力を合わせて頑張っていきたいと思っております。皆様には迷惑かける部分もあるかと思いますが、一年間どうぞよろしくお願いしたいと思います。

○副会長

佐藤幸彦副会長



皆さん、こんばんは。副会長を仰せつかりました佐藤でございます。鈴木会長を補佐するべく、また本年度は金田ガバナー補佐も出てるということですので、皆さんと協力しながらやっていきたいと思っております。私理事会出席を得るのが丁度10年ぶりかなと記憶の中では。ちょうど2011年の震災の年に、大竹会長のもと幹事をやった時が最後かなと思っております。あの時もいろいろございましたけども、今年もコロナ禍という中ではございますけども、皆様と協力しあいながらやっていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

○S A A

山口治S A A



皆さん、こんばんは。S A Aの年度計画を発表させていただきます。S A A山口。副S A A安部和夫会員、車田裕介会員、佐藤清作会員。ちなみに、佐藤清作会員はチャーターメンバーなんですけどもS A Aは初だそうです。そして、緑川直人会員、佐川京子会員というふうなメンバーで、一年間S A Aを務めさせていただきますしたいと思います。本年度、S A Aは鈴木孝幸会長のクラブ目標「新たな奉仕に踏み出そう ロータリーの次の百年のために」の基本方針のもと、下記のスタンスで例会の運営を進めてまいります。

1. 会長、幹事、各委員会との連絡を密にとり、円滑な例会運営を行う。特にプログラム委員会との連携を重視し、会長に負担のかからないような例会の時間配分を行いたいと考えております。
2. ロータリーの基本、例会の雰囲気作りを重視して進めていきたいと思っております。
3. 食事内容も出席率向上に寄与するものと考え、東京第一ホテルさんに要望を伝え皆さんに食事を楽しんでいただきたいと思っております。
4. ゲスト、ビジター、会員のエスコート役をしっかりと進めていきたいと思っております。
5. メンバー1人1人担当月を決めて一年間進めてまいりたいと思っております。

今年度も、まだまだ新型コロナウイルスの影響が残るかもしてませんが、ハイブリット例会というのも続けていく

ということですので、そちらも対応して進めて一年間いきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○社会奉仕委員会

村上堅二委員長



皆さん、こんばんは。今年度、社会奉仕委員会の委員長を務めさせていただきます村上と申します。一年間、よろしくお願いいたします。副委員長に、遠藤敦パスト会長。委員のほうに、小林義勝パスト会長、佐川京子会員の4名で活動を進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。今年度は、コロナ禍の中でのスタートとなりまして、今の社会も経済も非常に厳しく心まで辟易としております。ロータリーの原点である奉仕の理想のもと、辟易してしまった心を温められるような社会活動を地域の人達と青少年のためにもなる活動を進めていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。今年度、鈴木会長の掲げるクラブテーマ「新たな奉仕に踏み出そう ロータリーの次の百年のために」というものがあります。それに沿って幾つかこれから皆さんに奉仕できるような形を取りたいと思います。その中で、今回は2つのプロジェクトを一応今計画しております。「誇れる町作りプロジェクト」。まず一つ目として、誇れる町という形で今回はロータリーデーが12月19日の予定なんですけども、その日に県南8クラブ合同で地域の駅の清掃活動をしていこうと。出来ればここに子供たちも含めて皆で駅を綺麗にして、この地区をもう一度愛してもらえるような、そして誇れるような町にしたい。そういった気持ちが持てるような活動をしたなと思っております。それと、できれば今年は自分の地域が好きになれるようなそういったものの何か方法を考えて、いろんな活動をしていきたいなと思っております。もう一つ、「友達プロジェクト」という形で前にさせていただいたんですけども、その中でやはり地域で困っている方々、そういう方には是非応援していこうと。そして学校なんかでも非常に困っていることがあるかと思いますが、私たちのクラブで応援できる場所は応援していきたいなと思っておりますので、皆さんよろしくお願いいたします。今年度は、R I 会長のシェカール・メータ会長のほうは新たな奉仕をしようという考えを非常に強く持っております。今年度一年間は、一生懸命奉仕の気持ちを持って活動してまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○職業奉仕委員会

齋藤孝弘委員長



皆さん、こんばんは。職業奉仕委員会委員長を仰せつかりました齋藤孝弘でございます。何卒一年間、よろしくお願いいたします。職業奉仕委員会は会長の意向を十分に踏まえた委員会の内容になっております。ゆえに、楽しい委員会にしたいと思っておりますので、皆さんご協力よろしくお願いいたします。二本

柱で一年間を計画しております。一つは、日本の中枢を皆さんでもう一度見に行こうということで、証券取引所、防衛庁、国会を見に行こうかなというふうに今考えております。コロナ禍ではありますが、コロナ禍のことを考えてると何もできないので、もうコロナはその頃には明けてるというふうに考えまして、この計画をさせていただきます。夜は美味しいものを食べて英気を養っていきいたいなと思っておりますので、よろしくお願いいたします。もう一つは、地球上の人口が今77～78億、これがあと10年以内には80億人になってしまうと国連では今試算しております。その中で、地球上の人口が80億を超えると、過去400年間に作ってきた作物が20年間で食べつくされてしまうというふうな試算も出ていて、非常に国連が危惧していることは今皆さんもご存じのことだと思っています。これについてはいろいろ賛否両論ありまして、小さいほ場でも前より量は採れているのでそういうことはなという学者さんもいますし、その辺はまだまだ先を見てみないとわからないところではあるんですが。食べることは楽しみでもありますので、食料というのは大事だということをテーマにした例会を行っていきいたいなと思っております。今、最先端農業をどこでもやっていると思うんですが、その中でも今、日本で一番最先端農業進んでいる所の技術者等をお呼びしまして、人手のかからないような利益の上がるようなシステムを構築してるところの学者レベルの方をお呼びしまして例会を行っていきいたいなと思っております。また、他に要望があれば近頃のどこかの頑張っている企業の訪問もしたいなと思っております。一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

○国際奉仕委員会

青木大委員長



皆さん、こんばんは。国際奉仕委員会を留年しました青木です。本来であれば、35周年できっちりけじめをつけてミャンマーにランドセルを送って、もともと今年も送る予定でした。ただ、ランドセルの報告をさせていただきますと240程集まりまして、当初の目標は400でしたので、まだ160程集められる状態にあります。図書カードがありますので。ただ、送り先がはっきりしていないという部分と、この情勢の中で本当に送れるんですかという声を受けながら持ってくるような人がいるのも現状でありますので、その辺も含めると無理して一生懸命集めても送り先が決まっていなくて一番難しいところかなというところで、昨年度は240個のランドセルを集めた時点で終了しております。今年度に関しては、このランドセルプラスアルファをして届けるのか、また先週の会長からありましたように場所を少し変えて今回は送って、また新たな機会にミャンマーに届けるのかを検討しながら、何とか本年度海外に渡航できるような状態になるのであれば行きたいなと思っております。白河市のほうでは、コロナのワクチン接種の券が私の家にも届きまして、受けませんかというようなところからなんですけど、返

事に迷っているところがあります。受けたほうがいいのか、僕元氣なので多分罹らないなと思って、本来個人的な気持ちでは受けたくないんですけど、ちょっと会社的に他の人にも受けたほうがいいんじゃないって言えなくなるので、やっぱり率先して受けるべきなのか非常に悩んで、返事が7月19日までに返事をするようになっていたので、それまでには結論を出していきたいなというふうには思っております。白河市では、40代が8月後半くらいで、10代が10月かそれくらいまでのスケジュールで一応案内が来ている。ただ、現状はちょっとどうなるかというのはまだ未定かもしれませんが、一応そんな状況が白河市であるというところだけお伝えをして、国際奉仕としてはできる限り海外に行けるのであれば行って、今回35周年で集めたものをその地域に還元をできたというふうには思っております。どうぞ一年間、よろしくお願いします。

○ビジョン推進・研修委員会

宮本多可夫委員長



皆さん、こんばんは。今年度も、ビジョン推進・研修委員会の委員長を仰せつかりました宮本でございます。今年度もよろしくお願いします。この委員会の大きな目標としましては、各会員が白河西ロータリークラブを愛せる、あるいは誇りを持てるビジョン、あるいは組織を作るといことが大きな目標になるかと思います。前の委員長さんが白河を好きになる活動をしたというふうなことを言いましたけど、私のほうの委員会としては白河西ロータリークラブを好きになる活動をしていきたい。大きな目標としては、そんなことを目標にしてビジョンを作成したり、あるいは組織を作ったりということを考えていきたいと思っております。具体的に言えば、一つとしては白河西ロータリークラブのアイデンティティを作成するために、各会員がそれぞれ持っている理想を議論をぶつけあう場を何度も作っていききたい。これは具体的にはホームミーティングの時に、会長さんをお願いしながらテーマをそういう各人がこの白河西に何を期待してどういう理想を持つかということを含めて、そういうことをテーマしながらホームミーティングを開いてもらって活発な議論をしていただきたい。さらには、そういうことの延長線の中でアンケート調査が必要な場合にはアンケート的な活動もしていきたいというふうに考えております。次に、研修委員会というような言い方もされる中で、私のほうの委員会としてはR Iの規定審議会も含めて、毎年R Iのほうの方針というのは全世界的な視点を見ながら微妙な変化をしている。非常に我々もいろいろ敏感に感じて、白河西も随分変わってきております。そういうことの中で、R Iの規定審議会を含めての各活動がどのような方向を向いているかということの情報を入手して皆さんに還元しながら、我々のビジョン作成の一助にしていきたい。そういうところを大きな二つの柱にしながら、今年度活動していきたいというふうに思いますので、皆さんのご

協力よろしくお願いします。

○出席委員会

山田顕一郎委員長



皆さん、こんばんは。山田でございます。委員長はわたくしで、副委員長が瀬谷会員。あと、鶴丸会員と石部会員の4名で出席委員会、一年まいります。当たり前のことなんですけども、無断欠席を防止して、プログラム委員会、親睦委員会さんと情報共有をして、例会の内容等もできる限り早めに発信をさせていただいて、毎年恒例となっておりますが出席率上位者への表彰ということで、会長と幹事のほうからご提案いただきまして、今年は半期ごとに出席率上位者への表彰をやってみようということで、7月から12月、来年の1月から6月ということで、二期に区切ってやってみたいと思っております。コロナ禍ということで、メイクアップ等難しいところあると思うんですが、できるだけ皆さんに出席していただけるように一年間頑張ってまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。

○親睦委員会

鶴丸彰紀委員長



皆さん、こんばんは。本年度、親睦委員会を仰せつかりました鶴丸でございます。一年間、よろしくお願いいたします。まず、委員会メンバーですが、副委員長に藤田和克会員、運天直人会員、瀬谷隆志会員、井上敬裕会員、吉成真五郎会員、増子国安会員、永山龍太郎会員、水上泰真人会員、石川格子会員、以上10名で行わせていただきます。よろしくお願いいたします。親睦委員会の活動として、昨年度までコロナ禍ということでいろいろな活動の制限ございましたが、本年度はワクチンその他で活動が拡大していくだろうという希望的観測を持ちまして、感染予防を徹底しながら親睦活動の輪が広がるように務めさせていただきたいと思っております。会員同士、またご家族、他クラブや地域団体とのより一層の交流、親睦が図れるように設営を行ってまいります。具体的な活動ですが、毎月の誕生日、結婚記念日のお祝い企画。これはもう始まっております。年2回のホームミーティングの設営、納涼例会、J C・Y E G交流会、新入会員歓迎会、クリスマス例会、新年会及び3クラブ合同の新年会、観桜会、会長幹事慰労会などを、年間を通して行ってまいります。また、今年は他クラブ合同などに関しましては、白河西の担当となっております。3クラブ合同新年会や観桜会、またI Mも白河西の担当です。是非、会員の皆様からのご指導とご助力をいただけますように、一年間を通して鈴木・須藤年度を盛り上げるためにも精一杯やらせていただきますので、是非一年間よろしくお願いいたします。